

•自律性、協力性の育成	(2) 人の立場に立って考え思いやりのある行動ができる —略—	。はげまし合い協力し合う子供 —略—	g. 集団のきまりや約束を尊重し、自主的に守ることができる。(3・4年) h. 学校全体への連帯感をもち、全校的な活動に積極的に参加できる。(4・5・6年) i. 規則を守り、自律的に行動できる。(5・6年) j. 協力し合い、創意工夫して仕事を計画的組織的に進めることができる。(5・6年)
3. 最後までやり通す子供 •忍耐力の養成 •意志力の養成 •自主的実践的態度の育成	(1) 目標に向かって最後までがんばることができる。 (2) 係や委員会の責任を果たすことができる —略—	。最後までやり通す子供 。自主的にやりとげる子供 —略—	k. 児童と教師の話しあいで計画を立て、始めたことはやりとげられる。(1・2年) l. 働く喜びを味わうことができる。(1・2年) m. 進んで働くことができる。(3・4年) n. 進んでみんなのために奉仕することができる。(5・6年)
4. きれいづくりで、体をきたえる子供 •保健衛生の習慣の形成 •体力の増強	(1) 体を清潔にしておくことができる。 (2) 進んで運動ができる。 —略—	。きれいづくりな子供 。健康な体をつくる子供 —略—	o. 基本的行動様式を身につける。(1~4年) p. 身体を清潔にし、基礎体力を身につける。(1~4年) q. 保健衛生的な生活習慣を身につける。(3~6年) r. 身体を積極的にきたえる。(3~6年)

② 学校行事「運動会」の目標と教育目標及び特別活動の重点目標との関連

学校行事「運動会」の目標	教育目標及び特別活動の重点目標との関連
(1) 競技や演技を最後までやり抜く気力の充実を図るとともに、運動の楽しさを味わわせる。	教育目標 3 特活の重点目標 r, c
(2) 児童の積極的な参加を通して、日常における学習の総合的な発展や健康、体力の増進を図る。	教育目標 1, 4 特活の重点目標 b, o, p, q, r
(3) 規律ある態度、協力的な態度、公正な態度など、集団生活に必要な態度を身につけさせる。	教育目標 2 特活の重点目標 c, d, e, f, g, h, i, j
(4) 学校と家庭、地域社会との連携や交流を強める。	

(4) 学校行事「運動会」の目標と教育目標との関連を図った実践例

《実践例1》

1. 種目名 全校ダンス「心を合わせて」

2. ねらい

(1) 本校の教育目標から

◦きまりを守り力を合わせる子供 (教目2)

(2) 運動会の目標から

◦規律ある態度、協力的な態度、責任ある態度
公正な態度など集団生活に必要な態度を身につける。(教目3)

(3) 全校ダンスの目標から

◦協力し合い、心を合わせて集団で躍る美しさを表現する。

◦市民歌に4年生が振り付けをして全校で踊る。
◦「南極物語」の曲で、異学年編成の班に整列し、同じ動作が波状に広がっていく美しさを表現する。

◦このように、教育目標から運動会の目標、種目へと関連を明確にする。

3. 到達の度合い

(1) 目標である「心を合わせる」ことを児童に